

【3日目】 6月6日(日) 12:15~13:15

COVID-19 対応特別委員会企画

地方教育行政と学校は「一斉休校」にいかに対応したか

【企画趣旨】

本企画は「新型コロナウイルス感染症対策に伴う教育経営課題に関する特別委員会」（略称：COVID-19 対応特別委員会）による研究活動報告、そして会員各位との問題共有および交流を目的に企画されたものである。

同委員会は、COVID-19 感染拡大に伴う学校教育の諸課題を教育経営の観点から明らかにすることを目的に昨年9月に発足した。この諸課題の解明を通し、ポスト・コロナ（ウィズ・コロナ）の教育経営の実践に対する示唆を得ると共に、これからの教育経営研究に関する新たな視点を得るべく研究に着手している。

本企画では、COVID-19 対応特別委員会の各委員が進める地方教育行政ならびに教育関係機関調査について話題提供し、いくつかの論点提示を試みる。また、会員各位の感想や意見の交流ならびに情報提供等を受けて、本特別委員会が進める「マンスリー研究会」企画等に反映させ、本学会における継続的な議論へと結びつけていく。

会員各位には、昼の限られた時間での開催であるため、ランチや休憩を適宜取られながら参加いただけると幸いである。

〈話題提供〉

篠原 岳司（北海道大学）「北海道・札幌市他自治体の状況から」

柏木 智子（立命館大学）「兵庫県・熊本市他自治体の状況から」

元兼 正浩（九州大学）「福岡県・北九州市の状況から」（紙面報告）

〈司会〉

佐藤 博志（筑波大学）